

# 緑化兼芝生用除草剤



# デステイニー®

# WDG

製造・販売：



バイエルクロップサイエンス株式会社

販売：



株式会社ニチノ緑化

# 構造式と物理化学性



デステイニー<sup>®</sup>  
WDG

委託試験番号

: AEH-002

一般名

: ヨードスルフロンメチルナトリウム塩

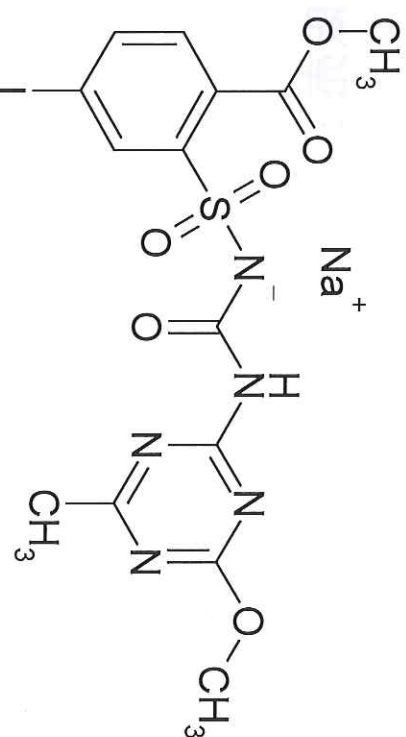
外観

: 淡褐色水和性微粒及び細粒

水溶解度 : 0.16g/L (pH5, 20°C)

融点

: 152°C



規格 : 100g × 6袋

## 人畜・魚介類に対する安全性

人畜毒性 (普通物相当*)	急性経口	
	急性経皮	ラット(♂♀)
眼刺激性	ラット(♂♀)	LD <sub>50</sub> ≧ 5000mg/kg
皮膚感受性	ウサギ	なし
皮膚刺激性	モルモット	なし
ウサギ	ウサギ	なし
コイ	LC <sub>50</sub> (96h) = 117 mg/L	
ミジンコ	EC <sub>50</sub> (48h) = 16.4 mg/L	
藻類	ErC <sub>50</sub> (0-72h) = 0.19 mg/L	

・ 「毒物および劇物取締法」に基づく毒劇物の指定を受けない物質を示す

# 適用の範囲及び使用方法



デスライニー<sup>®</sup>  
WDG

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ヨーロッパ マルチリウム 塩を含む農 薬の総使用 回数
				葉量	希釈水量			
日本芝	-	一年生および 多年生広葉 雑草	雑草発生前 ～発生初期	15～20 g/10a (0.015～0.02g/m <sup>2</sup> )	200～300 L/10a	2回 以内	全面 散布	2回 以内
		一年生および 多年生広葉 雑草	雑草生育期	40～80 g/10a (0.04～0.08g/m <sup>2</sup> )	100～200 L/10a			
樹木等	公園、庭園、堤 とう、駐車場、 道路、運動場、 宅地、鉄道、の り面等	一年生および 多年生広葉 雑草	雑草生育期	60～120 g/10a (0.06～0.12g/m <sup>2</sup> )	100～200 L/10a	2回 以内	全面 散布	2回 以内
		クズ	雑草生育期	60～120 g/10a (0.06～0.12g/m <sup>2</sup> )	100～200 L/10a			

- 本剤はイネ科雑草、カヤツリグサ科雑草には効果が劣るので、イネ科雑草カヤツリグサ科の優占する圃場ではこれらに有効な薬剤と組み合わせ使用してください。
- 本剤の使用により、芝に黄変などの薬害を生じることがあるが、1～2週間で回復し、その後生育には影響を与えません。
- 散布液の飛散、流出による有用作物への薬害に注意してください。
- 本剤の散布に用いた機具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗っておき、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないよう注意してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。

# 殺草スペクトラム(既発生)

発生初期～生育期(30cm以下)



デステイニー  
WDG

科名	和名	薬量(g/m <sup>2</sup> )	
		0.04	0.06
キウ科	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アチノキ	●	●
	アブラナ科	アブラナ	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アブラナ		●	●
アザミ科	アザミ	●	●
	アザミ	●	●
	アザミ	●	●
	アザミ	●	●
	アザミ	●	●
	アザミ	●	●
	アザミ	●	●
	アザミ	●	●
オオバコ科(1)	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
サギコケ科	サギコケ	●	●
	サギコケ	●	●
	サギコケ	●	●
	サギコケ	●	●
スベリヒユ科	スベリヒユ	●	●
	スベリヒユ	●	●
ベンケイソウ科	ベンケイソウ	●	●
	ベンケイソウ	●	●
シソ科	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	ナデシコ科	ナデシコ	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
ナデシコ		●	●
バラ科	バラ	●	●
	バラ	●	●
	バラ	●	●
	バラ	●	●
	バラ	●	●
	バラ	●	●
ヒユ科	ヒユ	●	●
	ヒユ	●	●
オオバコ科(2)	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
トウダイグサ科	トウダイグサ	●	●
	トウダイグサ	●	●
	トウダイグサ	●	●
	トウダイグサ	●	●
	トウダイグサ	●	●
	トウダイグサ	●	●
	トウダイグサ	●	●
	トウダイグサ	●	●
タネ科	タネ	●	●
	タネ	●	●
ザクソウ科	ザクソウ	●	●
	ザクソウ	●	●
	ザクソウ	●	●
	ザクソウ	●	●
マメ科	マメ	●	●
	マメ	●	●
カタバミ科	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
	カタバミ	●	●
ツユクサ科	ツユクサ	●	●
	ツユクサ	●	●
	ツユクサ	●	●
	ツユクサ	●	●
	ツユクサ	●	●
	ツユクサ	●	●
セリ科	セリ	●	●
	セリ	●	●
	セリ	●	●
	セリ	●	●
トウサ科	トウサ	●	●
	トウサ	●	●
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	●	●
	カヤツリグサ	●	●
	カヤツリグサ	●	●
	カヤツリグサ	●	●
イネ科	イネ	●	●
	イネ	●	●
シソ科	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
	シソ	●	●
ナデシコ科	ナデシコ	●	●
	ナデシコ	●	●
	ナデシコ	●	●
	ナデシコ	●	●
オオバコ科	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●
	オオバコ	●	●

※セイタカアワダチソウ、ヨモギ、スギナなどの多年生強雑草に対しては0.06g/m<sup>2</sup>で90日程度の残効性です(再生)。

# シロツメクサに対する効果

シロツメクサに対する茎葉処理効果(1)  
デステイニーWDG処理19日後(5月16日処理)



# シロツメクサに対する効果

シロツメクサに対する茎葉処理効果(2)  
デステイニーWDG処理44日後(5月16日処理)



# セイタカアワダチソウ、シロツメクサに対する茎葉処理効果

場所：茨城県バイエル社試験圃場

処理日：2011年7月22日

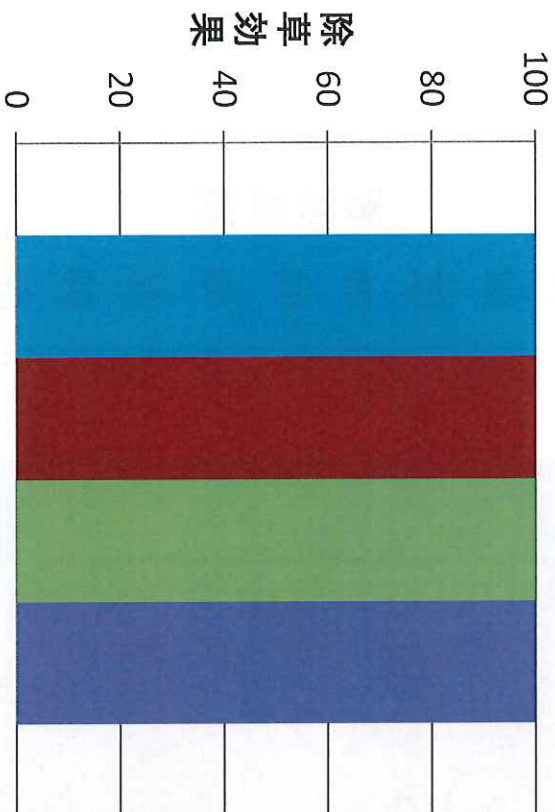
調査日：2012年9月8日(48日後) 草丈：セイタカアワダチソウ(約50cm)

散布水量：100ml/m<sup>2</sup> シロツメクサ(約30cm)

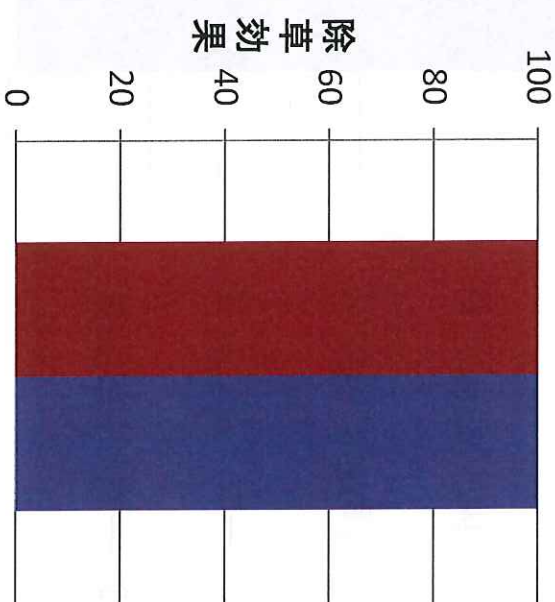


デステイニー<sup>®</sup>  
WDG

## セイタカアワダチソウ



## シロツメクサ



■ デステイニー 0.04g/m<sup>2</sup>  
■ D剤 0.005g/m<sup>2</sup>

■ デステイニー 0.06g/m<sup>2</sup>  
■ D剤 0.01g/m<sup>2</sup>

■ デステイニー 0.06g/m<sup>2</sup>  
■ D剤 0.01g/m<sup>2</sup>

デステイニー0.04、0.06g/m<sup>2</sup>処理により、セイタカアワダチソウに対して、処理48日後に高い除草効果が認められました(再生には注意して下さい)。シロツメクサに対しても、0.06g/m<sup>2</sup>で高い除草効果を示しました。

# クズに対する茎葉処理効果

夏処理

場所：関東Cゴルフ場

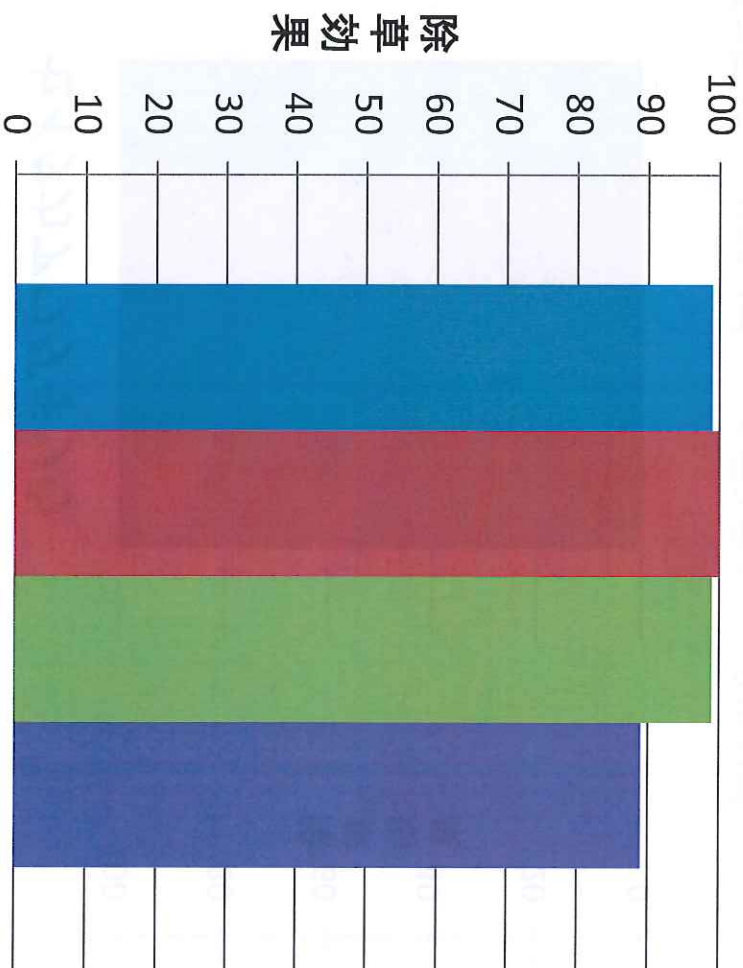
処理日：2012年6月5日

調査日：2012年8月13日(69日後)

散布水量：100ml/m<sup>2</sup>



デステイニー<sup>®</sup>  
WDG



- デステイニー 0.06g/m<sup>2</sup>
- デステイニー 0.12g/m<sup>2</sup>
- D剤 0.01g/m<sup>2</sup>
- E剤 2ml/m<sup>2</sup>

デステイニー0.06、0.12g/m<sup>2</sup>処理により、クズに対して、クズに対して、D剤と同等の高い除草効果を示しました。E剤では69日後には再生個体が見られました。



# クズ、ヨモギに対する茎葉処理効果

秋処理

場所: 関東Bゴルフ場

処理日: 2011年10月28日

調査日: 2012年7月10日(217日後)

散布水量: 100ml/m<sup>2</sup>

処理日

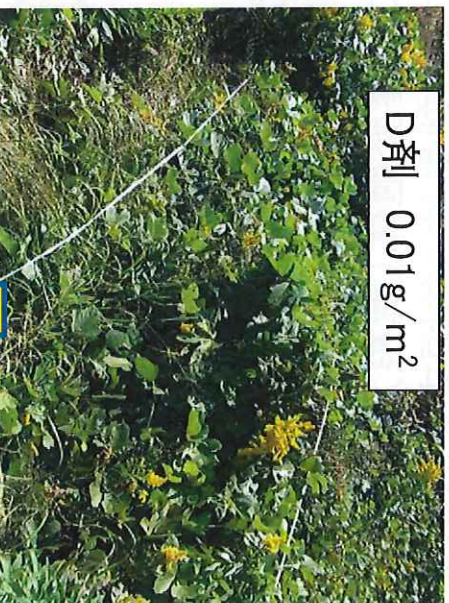


デステイニー<sup>®</sup>  
WDG

デステイニー 0.06g/m<sup>2</sup>



D剤 0.01g/m<sup>2</sup>



無処理区



217日後

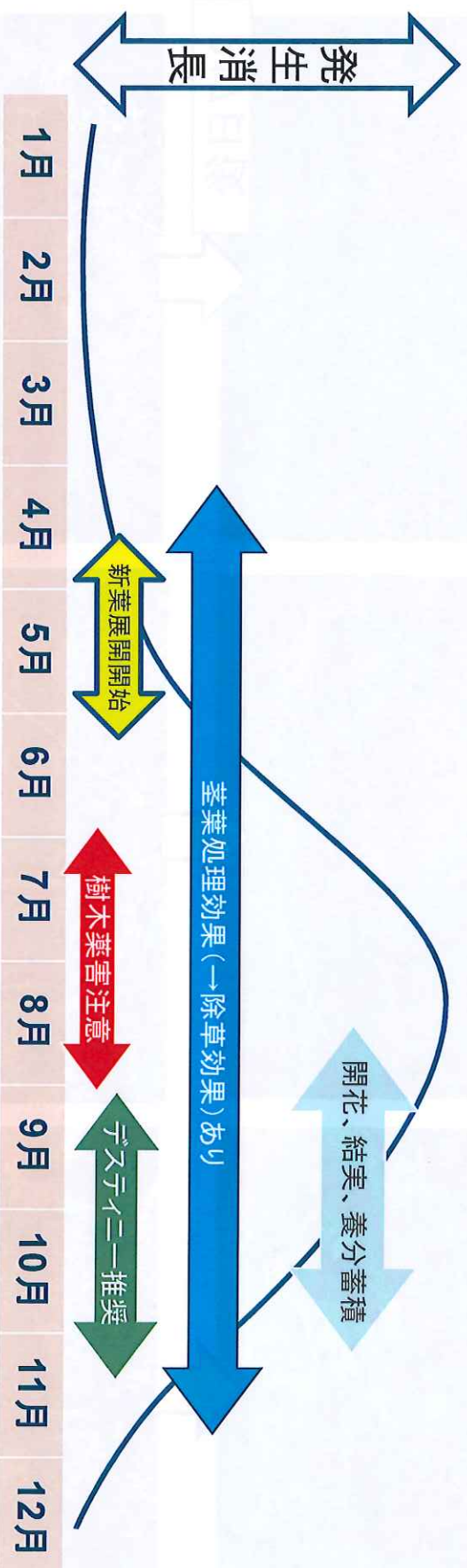


デステイニー0.06g/m<sup>2</sup>の秋期処理により、クズの翌夏の再生が抑えられ、高い除草効果を示しました。ヨモギに対しては、残存、再生個体が認められました。



デステイニー®  
WDG

## クズの状態と散布時期(関東以西)



- ・5月頃から新葉の展開が開始します。
- ・盆頃までは旺盛な栄養繁殖成長を行い、その後次第に生殖生長(開花)へ移行し、また、同時期に栄養繁殖体(塊根)への養分蓄積へ移行します。
- ・一般的に茎葉処理剤による効果は、盆頃までの処理では再生が生じやすく、9-11月上旬ごろまでの処理では、翌年の再生が少なく高い効果が得られやすい傾向にあります。
- ・**デステイニーの推奨散布時期も9-11月上旬です。**

# ヨモギ、セイタカアワダチソウに対する効果

HE13EJPDQCG002

場所：茨城県コギルフ場  
処理日：2013年7月5日  
調査日：2013年10月8日(95日後) 散布水量：100ml/m<sup>2</sup>  
雑草の状態：生育期(草丈70-100cm)



デステイニー  
WDG



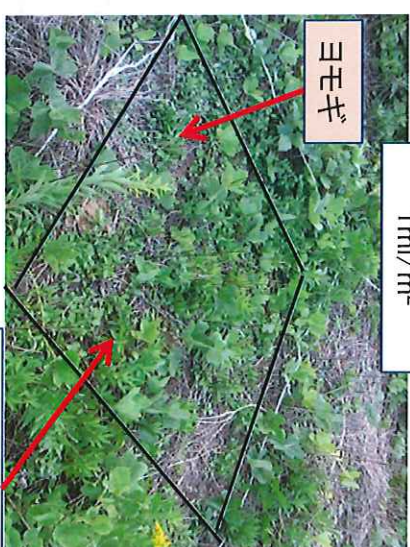
デステイニー +E剤  
0.06g+1ml/m<sup>2</sup>



D剤+E剤  
0.01g+1ml/m<sup>2</sup>



E剤(グリホサート)  
1ml/m<sup>2</sup>



ヨモギ

E剤単用より雑草が少ない

セイタカアワダチソウ

無処理区



※クズは試験区外から侵入

デステイニー混用により、E剤単用よりヨモギやセイタカアワダチソウに対する効果が向上します。



デステイニー<sup>®</sup>  
WDG

樹木に対する影響（ポット試験）  
（土壌処理、茎葉処理）

### 供試樹種

スツ、ドウダツツジ、サクラ、イヌツゲ、ヒマラヤスギ、サザンカ、シヤリンバイ、ネズミモチ、オオムラサキツツジ、ウバメガシ、コノテガシラ

比較的影響が生じやすい樹種（盛夏の高温期など）

スツ、ドウダツツジ、サクラ、イヌツゲ、ヒマラヤスギ、サザンカ、シヤリンバイ、ネズミモチ

※土壌処理、茎葉処理（飛散）ともにご注意ください。

登録内容、ラベルの注意事項を守り、直接散布、飛散しないように注意して下さい。

# まとめ



デステイニー<sup>®</sup>  
WDG

- 発生初期から生育期の広範な一年生、多年生広葉雑草に高い茎葉処理効果があり、シロツメクサ・オオバコ・タンポポ・ハルジオン・クズ・ツユクサなどの難防除雑草に対しても高い枯殺効果があります。
- 広葉雑草の防除には、薬量0.05g/m<sup>2</sup>以上、**クズは0.1g/m<sup>2</sup>以上**を推奨します。
- イネ科・多年年生カヤツリグサ科（ハマスゲなど）には効果が劣ります
- スギナ・ヨモギ、セイタカアワダチソウにも茎葉処理効果を示し、非選択性茎葉処理剤（グリホサートなど）との組み合わせにより効果が増強されます（地下茎からの再生に対して残効性90日程度）。
- 周辺作物、樹木に直接散布、飛散しないように注意して下さい

